



## 情報漏洩

# 情報セキュリティとは？

### 【研修について】

- ・ 本研修の目安時間は、15分間です。
- ・ 講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。  
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

### 【本研修の目的】

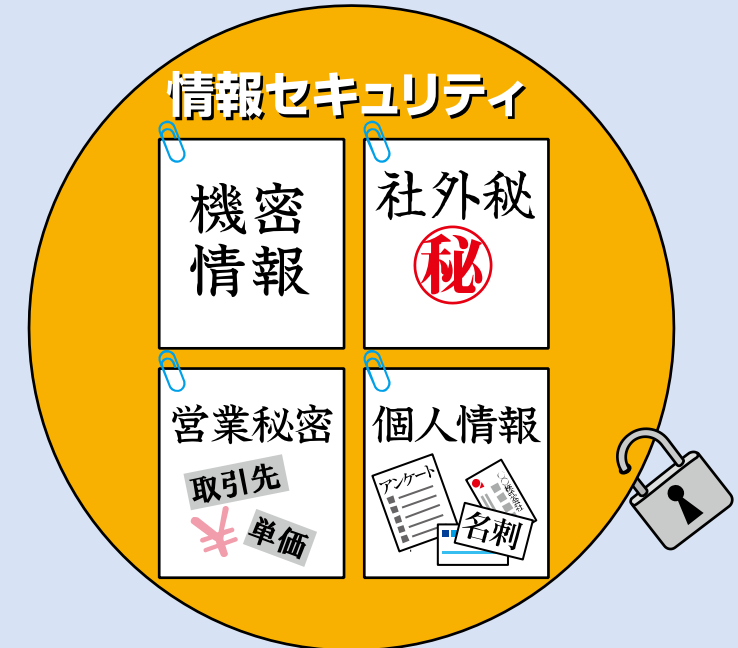
- ・ 隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

# 情報セキュリティとは？

私たちは、様々な情報を使って日々の業務にあたっています。それらの情報には、機密情報、社外秘情報、営業秘密、個人情報などがあり、紛失・漏洩しないように、正しい管理・取り扱いが求められます。

また、それらの情報を守ることは「情報セキュリティ」と呼ばれ、私たちが業務を行う上で必須のこととなっていますが、そもそも、なぜ情報を守る必要があるのでしょうか。

## なぜ情報を守る？

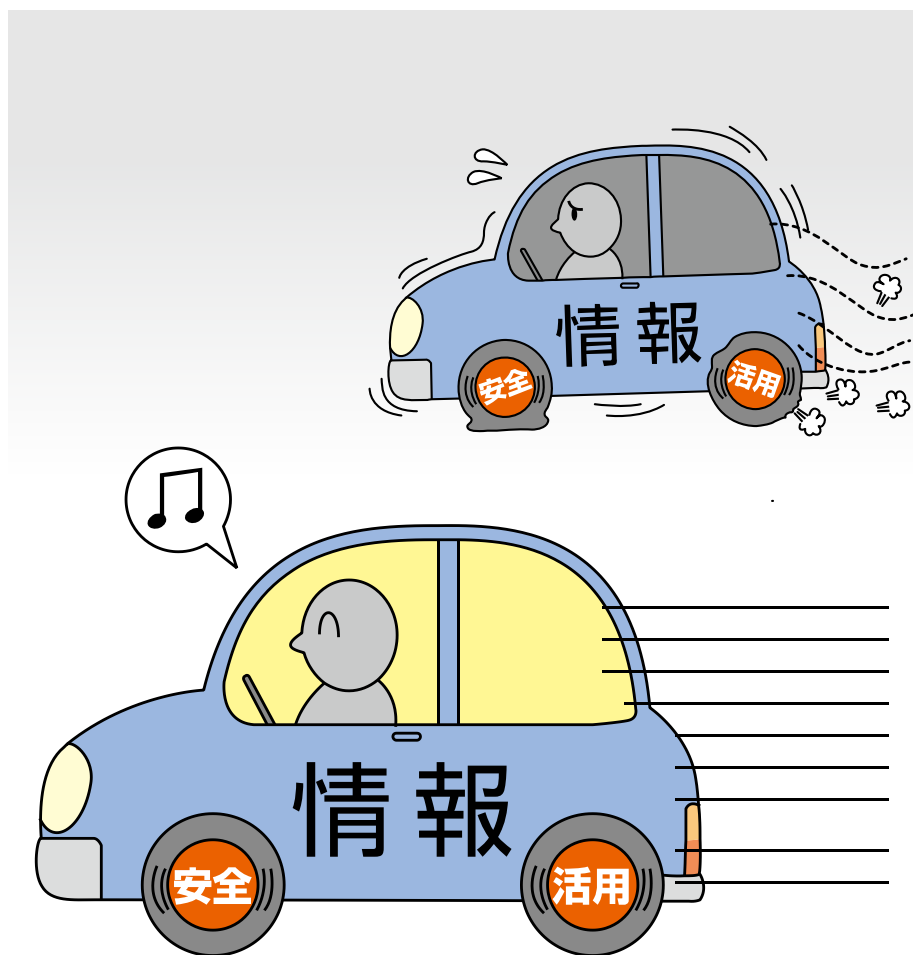
**Q1**

何のために情報を守らなければならないのでしょうか？

A

1

## 情報を「有効活用」するために守る



「安全」が担保されていない場合は、安心して情報を「活用」することはできません。安全が担保されていない場合、情報漏洩・流出といった事故を引き起こし、会社や取引先、消費者といった多くの関係者に多大な迷惑をかける結果となります。

一方で、情報を有効に活用できないほど、情報セキュリティ(安全)を強化することは、本末転倒です。

「情報セキュリティ」は、「安全」と「活用」のバランスが大切です。

Q2

**では、情報の安全を脅かす行為や  
状態には、どのようなものか  
あるのでしょうか？**

※ 第三者がいる場所、移動時、社内勤務時、  
離席中など、様々なケースで考えてみましょう。

A

2

## 次のような行為・状態が考えられます

電車内で鞆ごと情報を置き引きされる／  
USBメモリなどの記録媒体を紛失する

第三者のいる場所で、機密情報をつい  
喋ってしまう

見積書などをメールやFAXで誤送信して  
しまう

コンピュータウイルスに感染したPCをその  
ままにしておく

個人情報をも本人の同意を得ずに、第三  
者に提供してしまう

社有車の中に、書類や情報端末などを  
放置する

社外秘情報を、上長の許可なく社外に  
持ち出す

デスクや複合機の周りに情報書類を放  
置する(無防備の状態にする)



**Q3**

**情報セキュリティを疎かにして、  
情報漏洩・紛失などの事故を  
起こしてしまった場合、  
個人や会社はどのような処分・  
ダメージを受けることにな  
るのでしょうか？**

A

3

## 次のような処分やダメージを受けます

### 個人

#### 懲戒処分

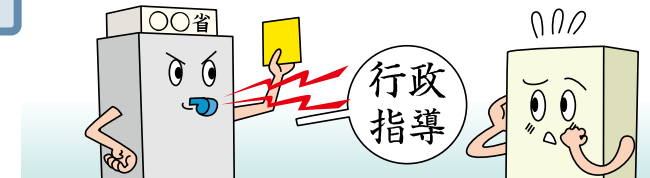


#### 取引先への謝罪



### 会社

#### 行政指導



#### 企業イメージの低下／ 取引先・消費者への謝罪／関係悪化



事情によっては、取引先などから「損害賠償」を請求される可能性があります。

※個人の場合は、不法行為・不正競争防止法などに基づく損害賠償

※会社の場合は、不法行為・使用者責任・守秘義務違反などに基づく損害賠償



Q4

**では、情報の紛失や漏洩を防ぎ、  
安全を担保するためには、  
個人としてどのように情報を  
取り扱うべきですか？**

A  
4

- ・情報を持ち歩く際は、「情報は自身の貴重品と同じ」という意識で「肌身離さず」を徹底する
- ・社内ルールを守った情報の取り扱いを徹底する  
(油断大敵の意識を持つ)
- ・情報の誤送信に注意する  
(宛先をよく確認する／ファイルにパスワードをかける など)
- ・物理的な対策をとる  
(デスクの引き出しにカギをかける／  
機密情報書類を雑多に管理しない など)



少しの気の緩みから情報の紛失・漏洩は起きます。  
手間を惜しまずに、しっかり管理しましょう。

**会社と働く人たち、その家族を守るのは  
あなたのコンプライアンス行動です。**

**お疲れ様でした。**